

11月9日は



PICK UP

気になる情報 ピックアップ報

☎ 119 番の日



消防庁では、消防に対する正しい理解と認識を深め、防火意識の高揚と、地域ぐるみの防災体制を確立することを目的として、昭和62年より11月9日を「119番の日」としています。



119番通報のかけ方

消火活動や救急救助活動は、1分1秒を争う時間との勝負です。正しい119番通報は、消防車や救急車の早い到着につながります。

いざというときのために、落ち着いて119番通報ができるよう日ごろから手順などを確認し、119番を有効に使いましょう。

119番通報の要領



119番通報

火事ですか？ 救急ですか？

場所(住所)は、どこですか？
《付近の目標となる物など》



火事

何が燃えていますか？

けが人や逃げ遅れた人はいますか？

あなた(通報者)の名前と電話番号を教えてください

救急



誰がどうしました？

傷病者の状況を教えてください

お知らせ

平成28年4月からとかち広域消防局となり、119番通報は、帯広市にある指令センターに繋がります。

119番通報の際は、必ず市町村名から住所を伝えてください。



お願い

- ① 救急の場合、心肺蘇生法等の応急手当の方法を指導することがありますので、ご協力をお願いします。
- ② 119番通報の中で『サイレンを鳴らさないで』との要望がありますが、消防車・救急車はサイレンを鳴らさずに緊急走行することはできませんのでご理解願います。
- ③ 119番通報では、災害内容や当直病院等のお答えをしていませんので、下記の連絡先にお問い合わせください。

◆災害案内 ☎ 0180-99-1198

とかち広域消防事務組合のホームページでも、災害出動状況が確認できます。

☞ <http://fire-tokachi.hokkaido.jp>

◆北海道救急医療情報案内センター

医療機関の情報を24時間提供しています。受診する病院がわからないときにお問い合わせください。

●フリーダイヤル ☎ 0120-20-8699

●携帯電話・PHSからの場合 ☎ 011-221-8699

※お問い合わせは、とかち広域消防局情報指令課(☎0155-26-9126)、または上士幌消防署(☎2-2519)まで

子育て支援 センター通信



子育て支援センター
☎2-4152

手袋で簡単につくれる

“自分だけのおにんぎょう”づくり

白い軍手で簡単にできる“手作りお人形”をつくってみませんか？

お人形の洋服は、筒状にして平ゴムを通すだけなので、着脱もラクチン！また、汚れた時には洗えるので、清潔に保てるのも嬉しいポイントです♥

- ★日 時 11月30日(木) 9時45分～11時30分
- ★場 所 子育て支援センター
- ★定 員 先着 親子5組まで
- ★持ち物 特にありません
- ★申込み 11月29日(水)まで
※準備の都合で予約が必要です



●お申し込みやお問い合わせは、子育て支援センター(☎2-4152)まで

ポイントの打ち替えはお済みですか？

バルーンスタンプカード

10月1日より、バルーンスタンプカードが新しくなりました。満点になっていない端数カードは、新しいカードへポイントの打ち替えをしてください。

打ち替え期限 ▶▶ **10月31日**まで

- 受付日 平日(月曜～金曜) 10時～17時
- 場 所 商工会館

【端数カードが複数枚ある場合】

端数ポイントを合計し、満点カード1枚分(400ポイント)ごとに500円の商品券1枚と、新しいカードに残りの端数ポイントを打ち替えます。

※お問い合わせは、かみしほろバルーンスタンプ協同組合(商工会内 ☎2-3314)まで

かみしほろ 生涯活躍のまち の取り組み

株式会社 生涯活躍のまち かみしほろ どうぞ、よろしくお願いいたします！

役員と社員のご紹介



▲写真左から、^{わさだ}早田取締役、千葉取締役、小寺社長、福田監査役、鈴木監査役



▲写真左から、^{わさだ}早田取締役、安田企画開発室長、^{そだに}佐藤事業部長、菅谷管理室長

※会社事務所(商店街・旧まちなか交流サロンの建物)にいます！お気軽にお立ち寄りください。



・ 臨時株主総会を開催 ・

10月11日(水)、山村開発センターにおいて株式会社生涯活躍のまちかみしほろ(まちづくり会社)の臨時株主総会が開催されました。

帯広信用金庫様、十勝信用組合様、北洋銀行様、北海道銀行様からの増資について審議し、会社の資本金を565万円にすることや、今年度の事業計画などが決議されました。

平成29年度の事業

地域包括ケアの充実

- ▶ 介護職員初任者研修の実施
- ▶ 地域包括ケアの取り組みに対する評価と提言
- ▶ 障がい者グループホーム、障がい者就労事業の検討

生涯活躍の場の創設

- ▶ (仮称)人材センターの検討と設立
- ▶ (仮称)生涯学習大学(生涯活躍かみしほろ塾)の検討と設立
- ▶ まちなか空き家空き地調査

移住希望者募集

- ▶ 首都圏の中高齢者を対象とする募集活動(セミナー等開催)
- ▶ 優良田園住宅地等の利用希望者募集
- ▶ 中高年齢者向け住宅のニーズ把握

『空き家・空き地調査』にご協力をお願いします

全国で空き家・空き地が増加しており、住民生活や市街地形成の上で大きな課題となっています。上土幌町においても、移住者等が起業にチャレンジする拠点づくりなど、空き家・空き地の有効活用を図るため、実態調査を行います。該当する空き家・空き地の所有者や権利者の方に、当社職員または協力担当者による訪問やアンケート方式で調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

この調査結果を踏まえ、有効活用のためのリノベーション(増改築など)のご提案や物件管理の受託等を行い、次年度には需要のマッチングやチャレンジショップ準備のお手伝いを企画していく予定です。

なお、商工会においても、空き店舗の活用や事業継続等について同様の調査を行いますので、エリアを分けて実施します。

※お問い合わせは、生涯活躍のまち かみしほろ (☎7-7630) まで

上士幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金の活用

にご意見をお寄せください

今年度から、ふるさと納税寄付金の一般寄付の一部を、「上士幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金」として、「健康で安心していきいきと暮らせるまち」を実現するためのまちづくりに活用することといたしました。

どんな基金なの？

大きく分けて次の3つの事業を対象としています。

① 健康寿命の延伸や地域包括ケアの醸成のための事業

誰もが個々の能力に応じて安心できる日常生活を営めるよう、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」などの地域包括ケア推進事業に活用します。



② 多世代交流等による地域コミュニティ醸成のための事業

誰もが「地域」「暮らし」「ふれあい」をともに作り、多世代交流などにより、高めあうことのできる事業に活用します。



③ 生涯活躍・いきがいづくりのための事業

誰もが「楽しみ」「生きがい」をもって暮らせる取り組みに活用します。

アイデアだけでもOK！

「健康で安心して暮らせて」なおかつ、「生きがいをもって楽しめる」取り組みに活用します！

- ① 地域性が認められる特色のある事業
- ② 寄付をしていただいた方の理解が得られるような事業
- ③ ふるさと納税の使途としてPR効果の高い事業

☆ 寄付をしていただいた方の想いを大切にしたいため、給付金を支給するような事業には、寄付金の活用はいたしません。

いただいたご意見・ご提案は、関係団体などと共に事業化ができるかを含めて検討を行い、外部選考委員会で協議します。なお、個別の回答はいたしませんので、ご了承ください。

ご意見の応募方法

意見募集は… 11月10日(金)まで

こんなことがあったらいいな、こんなことができたらいいな、というアイデアをお寄せください。

① 設置された意見箱に投函

- 役場庁舎 1階ロビー
- ふれあいプラザロビー
- 生涯学習センターわか 1階 事務室前

③ ミニ懇談会で語りませんか？

日頃の「上士幌町でこんなことができればいいな。こんなものがあっていいな。」を語りませんか？テーマは、「健康でいきがいのある暮らしをするために、この街にあったらいいものを考える」です。

気軽に語り合える場にしたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

■日時 11月24日(金)

1回目15:00~16:30 / 2回目18:30~20:00

■場所 ふれあいプラザ 研修室

※事前申込不要、ご自由にご参加ください。

② 郵送、FAX、Eメール、直接持参 などにより提出 アイデアとその理由をお送りください ※様式は任意

【提出先】

上士幌町役場 保健福祉課 福祉担当 (役場庁舎 1階 3番窓口)

〒080-1492 上士幌町字上士幌東3線238番地

FAX: 01564-2-4637

E-mail: hokenfukushika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

※お問い合わせは、保健福祉課福祉担当(☎2-4296)まで